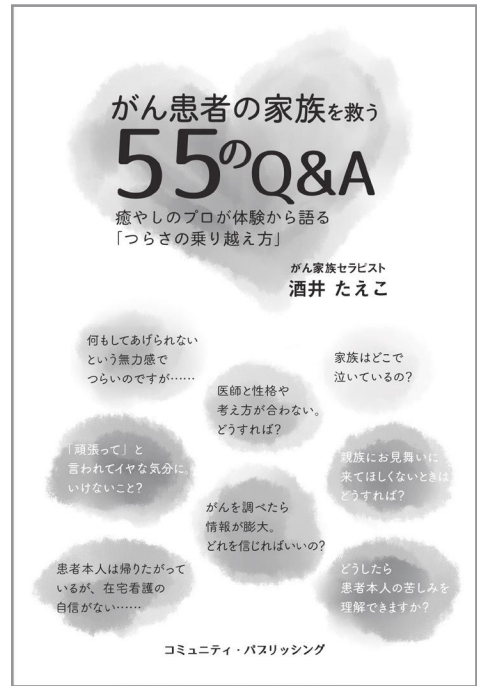


がん患者の家族を救う 55のQ&A

癒やしのプロが体験から語る 「つらさの乗り越え方」

末期がんの患者に対する「緩和ケア」は進みましたが、「がん患者を支える家族」のサポートはまだ十分だとは言えません。患者本人への告知、延命処置の判断、そして看病疲れなど。本書は、心の中で悲鳴を上げているがん患者の家族に向けて、その悩みや苦勞に「Q&A」方式でお答えします。

- 著者 さかい 酒井 たえこ
- 価格 1,620 円 (本体 1,500 円+税)
- 判型 四六判
- 頁数 約 200 ページ
- 発売 2017 年 8 月下旬



著者 酒井たえこ ● さかいたえこ
 がん家族セラピスト
 「がん患者さんの看病をしている人のサポート協会」代表

1970年生まれ。2005年にがんで父が他界。患者家族の深い苦しみを体験したのをきっかけにリフレクソロジーサロンを開業し、患者家族の個人相談を受け始める。2014年「がん患者さんの看病をしている人のサポート協会」を発足し、関西の総合病院の依頼を受けて「ご家族と、患者様への癒し」のプロボランティアを開始する。JHRS認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士資格取得。IEB認定英国、IFR認定ライセンス取得。

もくじ

- 序章 がんという病気の「本当の意味」
- PART 1 がんを理解するコツ
- PART 2 医師、看護師、病院との付き合い方
- PART 3 患者本人と向き合うには
- PART 4 兄弟や親戚のこと、どう考える?
- PART 5 自分の癒やし方、守り方
- PART 6 お金のこと、家計のこと
- PART 7 残された時間の過ごし方

本書で取り上げる質問 (一部抜粋)

- がんを調べたら情報が膨大。どれを信じればいいのか?
- どうしたら患者本人の苦しみを理解できますか?
- 医師と性格や考え方が合わない。どうすれば?
- 何もしてあげられない。無力感がつらくて……
- 患者本人は帰りがたっているが、在宅看病の自信がない……
- お見舞いに来てほしくないときはどうすれば?
- 「頑張って」と言われてイヤな気分。いけないこと? など

ご注文は JRC へ ■ FAX 03-3294-2177

株式会社 JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。

ご注文申込書	番線印	発行 アイエス・エヌ(株) TEL 06-4704-5443
	部数 冊	がん患者の家族を救う 55のQ&A 酒井 たえこ 著 ● 四六判 ● 約 200 ページ ● ソフトカバー 1,620円(本体1,500円+税) ● ISBN 978-4-909363-00-8